

# 令和2年度 茨城県県北農林事務所の取組

平成30年11月に策定された「茨城県総合計画」を踏まえ、県北地域の農林業、農山村の振興を図るため、各部門一体となって課題解決に向け取り組んでおります

## 企画調整部門

### 担い手の育成・確保

管内の認定農業者について、農業経営改善計画の目標年となった120名に対し、経営改善状況等を確認し再認定を促しましたが、高齢化等により27名が辞退しました。一方で、複数市町村で営農を行う農業法人や新規かんしょ生産者等25名が新たに認定農業者の認定を受け、管内の総数は457名（前年459名）となりました。

また、新規就農者については、市町等と連携した就農相談会や（公社）県農林振興公社と連携した常陸大宮市での「農場見学&就農相談会」等の開催により、管内において新たに10名の方が就農しています。



就農相談会

### 農地の集積・集約化の支援

担い手への農地の集積・集約化を進め、地域農業の振興・発展を図るため、管内6市町において人・農地プランの実質化に向けたアンケート調査及び結果の地図化、集落での話し合い等の実施を支援し、今年度は約95ha（見込み）の農地を農地中間管理事業を活用して担い手に集積・集約化しました。

さらに、他地域からの企業等の参入を支援するため、参入意向のある6社に対して候補地となる農地を紹介し、常陸大宮市小場地区において1社が参入しました。



地権者説明会の様子

### かんしょ生産拡大の支援

本年度は、新たに4戸がかんしょの栽培に取り組み、作付面積は昨年度から11ha増え、約28haとなりました。

茨城かんしょトップランナー産地拡大事業を活用した農地の確保については、荒廃農地等再生支援事業2件（1.8ha）、農地貸付協力金事業22件（3.6ha）の申請を支援しました。そのほか、市町・JA広報紙への事業概要掲載による生産者の掘り起こし、かんしょ栽培に適した農地のあっせん、栽培指導、機械導入支援等を行った結果、令和3年度の拡大予定面積は約10haとなりました。



新規栽培状況

### 鳥獣被害防止対策の推進

国や県の補助事業の活用により、市町の鳥獣被害防止計画に基づく有害捕獲などの取組を支援した結果、4月から12月の期間に6市町合計で2,914頭のイノシシが捕獲されました。

また、管内13か所に地域ぐるみの鳥獣被害対策活動を促進するためのモデル地区を設置しました。今年度は、常陸大宮市の下檜沢地区と鷲子地区のモデル地区において研修会を開催（11月）したところ併せて34名が参加し、イノシシの生息やわなの設置方法等について活発な意見交換が行われました。



モデル地区  
（常陸太田市里川地区）

## いばらきオーガニックステップアップ事業を通じた有機農業の推進

令和元年度から県北地域での大規模でモデル的な有機農業の取組を支援するため、「いばらきオーガニックステップアップ事業」を実施しています。

大規模有機モデル団地の整備を図るほか、地域の方が有機農業への理解を深め有機農業者との交流を図る産地見学会の開催や有機農業を目指す農業者等を対象とした技術検討会を実施し、県北地域での有機農業の取組を推進しています。



有機野菜の収穫体験

## 強い農業づくり交付金等を活用した生産基盤の整備

今年度、「強い農業・担い手づくり総合支援交付金（産地基幹施設等支援タイプ）」の活用により、北茨城市において（株）北茨城ファームのミニトマト大規模施設整備が進められているほか、「産地生産基盤パワーアップ事業」を活用して、常陸大宮市にJA常陸枝物貯蔵施設が整備されました。

これら生産基盤の整備により、農業生産性の向上が期待されます。



枝物貯蔵施設

## 儲かる農業ステップアップ事業を活用した特長ある経営体の育成

平成30年度から始まった「儲かる農業ステップアップ事業」では、農業経営者の創意工夫ある取組を支援することで「儲かる農業」の実現を支援しています。

今年度は、干し芋、トマト、食用ほおずきの生産拡大・加工に係る3件の事業が実施され、生産性や付加価値の向上によって販売額の増加などの成果をあげています。



現地研修会の様子

## 需要に応じた米の生産（経営所得安定対策）

米価の安定により、水稻生産農家の経営安定を図るため、国が策定する米の需給見通し等を踏まえ、主食用米の需要に応じた生産を推進しています。

今年度は、市町や地域農業再生協議会とともに管内6市町延べ152戸の個別訪問を行い主食用米から飼料用米等への転換を推進したことなどにより、令和2年度の主食用米作付面積は、5,032haとなりました（前年比▲179ha）。



搬出作業中の稲WCS

## 県北の繁殖和牛産地の振興と担い手の育成

今年度から始まった「優良繁殖和牛群整備対策事業」を活用し、経営計画の策定等を支援することにより、管内の意欲ある経営体13戸が124頭の繁殖雌牛を導入し、3棟の簡易牛舎を整備しました。

また、平成23年度から「新規繁殖和牛経営入門講座」を開催し、和牛繁殖経営の新たな担い手の育成を進めています。今年度も県肉用牛研究所での講義や農家体験実習を行い、14名の方が講座を修了しました。



入門講座の実習の様子

## 観光果樹経営体の育成(ブドウ(常陸青龍)、ナシ経営体の育成)

ブドウ「常陸青龍」の品質向上を図るため、栽培講習会、見回り会により着房数制限管理支援を行った結果、7月の日照不足で果粒肥大が抑制されたものの、品評会において一粒重13.7g、糖度18.4度と良好な果実品質を得ました。

ナシの需要に合わせた販売期間の延長を図るため、中核農家の品種構成・作業・労力等の調査を行い、品種構成モデルを作成・提案しました。改植時等における産地の指標となるよう、今後も周知を図ってまいります。



ブドウ品評会の「常陸青龍」

## サポーター制度を活用した観光果樹経営体の育成

里川西特産果樹生産部会(21戸)を対象に、講習会や個別巡回を通じたサポーターへの技術支援、受入農家の受入促進、樹形改良による省力化推進、消費者へのPRイベント支援を行いました。サポーター制度の活用実績は12月時点で前年対比126%と、当制度を活用した観光果樹経営体の育成に寄与することができました。今後も担い手が残れる観光果樹経営体モデルの育成を目標に支援してまいります。



サポーターへの技術支援

## 県北沿岸地域での主食用米の高品質安定生産の取組

### 1「コシヒカリ」の極良食味米生産技術の確立

県北地域の米の穀物検定協会品質評価ランキング向上(A→特A)に向け、品質改善モデルほ場を設置し、土壌改良資材の施用や葉色診断に基づく施肥管理、二段乾燥等の技術対策を実践しました。その結果、玄米タンパク質含量や整粒歩合等が改善され、食味値も前年より11ポイント上回り(72→83)、品質が大幅に向上しました。

### 2「ふくまる」の安定生産

高萩市のふくまる栽培研究会を対象に、土壌診断に基づく適正施肥や適期中干し等の栽培管理支援を行った結果、同会員4名の平均で「ふくまる」の収量が537kg/10aと「コシヒカリ」より21%増収しました。これにより、販売単価の差(-4%)があるものの、10a当たりの販売額は「コシヒカリ」より15,200円(+17%)上回りました。



「ふくまる」  
中干し現地検討会

## 多様な担い手の確保・育成

新規の就農を検討・希望する相談者(今年度延べ約50名)に対し、常陸太田地域における作物の生産状況を紹介したり、就農計画作成のためのアドバイスを行った結果、新規就農者2名を確保しました。

また、若い農業者を対象とした「農業学園」講座(年間5回)や女性農業者を対象とした研修・交流会(年間2回)を開催し、農業経営のレベルアップや仲間づくりの促進を図りました。



「農業学園」講座の開催

### 畑地かんがいを活用した基盤整備の取組(常陸大宮市三美地区)

三美地区(受益面積31.9ha)は、令和3年2月10日に換地計画が確定し、本年度をもって事業完了となります。

国営那珂川沿岸農業水利事業の受益地として、パイプラインを全域で整備し、令和3年度の国営三美機場の試験運転開始を機に、県北地域としては初めてとなる本格的な畑地かんがいを活用した営農が開始されます。

6名の担い手に農地の78%が集積され、いばらきオーガニックステップアップ事業や地区外担い手の参入にも取り組んでおり、有機農業や施設園芸が始まっています。



ベビーリーフ作付け状況

### 水田の基盤整備と農地集積の取組(常陸太田市小目地区)

小目地区(受益面積21.8ha)は、令和元年11月から工事に着手した大区画の整地工事、用水機場工事等が本年度内に概ね完了となり、令和3年4月から新しい農地で耕作が開始されます。

農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積率は76.8%となり、そのうち1ha以上のまとまりをもった農地集約化率は89.9%を達成し、担い手の一区画面積は50~80aとなりました。

農地集約化、大型機械の導入による作業効率の向上や生産コストの低減など地域のモデル地区となり、整備を検討している周辺地域への波及効果が期待されます。



R3年2月時点の状況

### 本県初となる巨大区画水田整備の取組(日立市伊師地区)

伊師地区(受益面積53.1ha)は、地元推進協議会や日立市と緊密な連携のもと、平成30年度から計画調査に取り組んだ結果、令和3年度から事業に着手できる見込みとなりました。

本地区は、徹底した低コスト稲作農業を目指しており、道路下に排水管を埋設することで最大長辺200m超の巨大区画水田(最大区画約4ha)や電気代がかからず水管理の容易な自然圧パイプラインを計画しています。

このような取組は本県では例がなく、スマート農業を可能とする基盤整備のモデル地区となることが期待されます。



伊師地区(事業実施前)

### 広域農道県北東部地区(グリーンふるさとライン)の全線開通

常陸太田市上大門町から同市西河内下町の約2.9kmが、令和2年6月27日に供用開始となり、これにより、常陸大宮市の国道118号線を始点に国道349号線を横断し、北茨城市の国道6号線まで続く全体延長約68kmの全線が開通となりました。

今回の全線開通により、農林畜産物の流通の合理化による農林業の発展のほか、周辺地域にお住まいの方々の生活環境の向上、産業や観光の発展・交流促進など県北地域の活性化に重要な役割を果たすことが期待されます。



グリーンふるさとライン

## I 間伐や再造林等の森林整備の推進

### I-1 間伐・再造林等の推進

手入れが遅れ、水源かん養などの公益的機能が低下している森林の間伐、主伐後早期に機能を回復させるための植林（再造林）を行っています。

本年度は、森林組合等の林業経営体に事業内容の説明や事業量確保の依頼を行ったところ、約723haの間伐が実施されるとともに、約123haの植林が行われました。

また、常陸太田市ほか4市町において、林業生産の基盤となる林道の開設が5路線、改良が2路線整備されました。



間伐された森林

### I-2 災害に強い森林づくりの推進

山地災害の未然防止と災害が発生した森林の早期復旧を図るため、山腹や溪間に土留や治山ダム等の構造物を設置し、森林の公益的機能の回復を図り、災害に強い森林を維持・造成しています。

また、住宅や道路、海岸林などを波浪や飛砂等の被害から守るため、防潮堤を設置しています。本年度は大子町ほか3市で山腹工や谷止工、流木対策工、日立市で防潮護岸工等を施工しました。



防潮護岸工

## II 民有林における売上高4億円以上の経営体の育成

### II-1 森林の集約化に向けた情報提供及び指導

林業経営体の経営基盤である森林を確保するためには、森林所有者から長期間の経営の受託が必要となることから、県では林地の集約化に取り組む経営体に対して、リモートセンシング技術（航空レーザ計測）を活用して、収集した樹種や林齢など森林資源のデータを提供しています。

林業普及指導員が森林組合など17の経営体に対して、情報の提供やその活用法について指導した結果、経営体と所有者の受委託契約が促進され、約1,700haの森林が集約化されました。



森林資源情報の活用説明会

### II-2 木材加工施設や林業機械等の導入指導

森林資源を効率的に利用し、持続的な林業経営の確立を目的として、木材加工流通施設の整備や高性能林業機械の導入を支援しています。本年度は、林地に残されている未利用木材の活用を図るため、補助事業を活用して、1経営体が木材チップ製造施設を整備しました。

また、高性能林業機械が4経営体（4台）で導入されるとともに、4経営体で6台の林業機械がレンタルされ、労働生産性の向上と労働災害の防止が図られました。



木材チップ製造施設

## III 森林経営管理制度の円滑な実施

市町村が森林所有者からの経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林は地域の林業事業体に再委託するとともに、林業経営に適さない森林は市町村が公的に管理する「森林経営管理制度」が昨年度スタートしました。

2年目となる本年度は、林業普及指導員の指導のもと大子町ほか3市の森林約1,100haにおいて、森林所有者への意向調査や地元説明会が実施されたほか、作業道の修繕や松林の保護など、地域の実情に応じた取組が進められています。



説明会の状況

## ハナモモ栽培の多収・省力化の取組

J A常陸奥久慈支部会の主力品目であるハナモモについて、多収・省力化の試験を行いました。収量向上の取組として、定植後から株の仕立てを開心形にすることで、3年目までの収量が慣行より30%増加することが確認されました。また、春夏に3~4回行う摘心作業について、省力化を目的にバリカンで実施したところ、手作業に比べ作業時間が40%削減され、摘心効果も確認されました。規模拡大意向者を中心に推進していきます。



バリカンでの芽摘み作業

## イチゴ経営体におけるスマート農業の取組

常陸大宮市野口のT農園において、国の「スマート農業技術開発・実証プロジェクト」の採択を受け、イチゴ栽培におけるスマート農業の実証試験に取り組んでいます。10月には、県育成品種「いばらキッス」現地研修会を開催し、県内イチゴ生産者40名に環境制御やAI養液土耕装置といった導入機器の紹介、アシストスーツの体験を行いました。アシストスーツは、定植やマルチ張りで作業軽減効果が得られており、現地研修会を機に生産者から導入を希望したいとの声も聞かれました。今後も、施設園芸において生産規模にあった必要な技術を導入できる、スマート農業のモデルとして実証試験を進めていきます。



現地研修会を開催

## 大子産リンゴの認知度向上に向けた取組(千疋屋での「こうとく」販売)

J A常陸大子町リンゴ部会青年部は、京橋千疋屋での「こうとく」販売に向け、大きさや見た目が良好なものを厳選、更には非破壊糖度計で糖度を確認した部員自慢の「こうとく」を、10月31日から、京橋本店、大丸東京店ほか3店舗で販売しました。売れ行きは好調で、お店の方から「茨城県にりんごの産地があるのを知らなかったのが興味深い」「サンプルを食べたら非常に美味しかった」「美味しいので一生懸命お客様に売込みをしている」との言葉をいただきました。今後も認知度向上に向けた取組を支援します。



京橋本店での販売

## 再生農地を利用したかんしょの安定生産に向けた取組

管内では再生農地を活用したかんしょの生産拡大を進めています。再生農地において安定生産を図るため、施肥や畝間緑肥を活用した実証ほ設置や電柵導入による獣害対策の講習会を開催しました。実証ほでは、無施肥の対照区と比べ、収量が施肥区は20%、畝間緑肥区は25%増加することが確認されました。また、畝間緑肥区では雑草抑制の効果があり、除草剤散布作業の省力化も図られました。今後も再生農地を活用して規模拡大を進める生産者を中心に、安定生産技術の確立を進めていきます。



かんしょ現地研修会

## 常陸大宮地域における担い手の育成・確保の取組

管内の担い手育成・確保のため、関係機関と一体となった就農支援協議会を立ち上げ、就農希望者の相談対応および新規就農者のフォローアップに努めています。令和2年度は就農希望者19名に対し、延べ54回相談対応を行いました。就農に向けて先進農家で研修中の3名は就農計画が認定され、年度内に認定新規就農者としてイチゴ経営をスタートさせます。

これまでの認定新規就農者8名と合わせ、市町と連携して巡回を行い定着を図っていきます。



認定就農者の現地指導

## 水田の基盤整備と基幹排水整備の取組(北茨城市下桜井地区)

北茨城市下桜井地区では、経営体育成基盤整備事業、県営かんがい排水事業により令和元年7月から整備に着手し、区画整理工事約29ha、幹線排水路工事約1,230m、排水機場工事1箇所を実施中です。令和2年度は仕上げ整地工事が完了し、排水機場建屋工事、排水ポンプ設備工事に着手しました。

また、令和2年度末には一時利用地指定を行い、基盤整備に併せ農地中間管理事業を活用した農地集積をするため、地元土地改良区、北茨城市及び農地中間管理機構と連携し、事業を進めました。



ファームポンド(完成)



仕上げ整地工事(完成)



排水機場工事(整備中)



幹線排水路(完成)

## 一般農道整備事業の取組(北茨城市関南4期地区)

本地区は北茨城市関南町と磯原町を結ぶ基幹農道として、総延長約4kmの農道整備計画となっており、令和2年度は、山間区間の法面工を主にして整備を実施しました。

令和3年度の整備完了を目標としており、全線が供用開始となった暁には、北茨城市北部の農産物輸送体系の向上や農村環境の改善等、地域社会の活性化に重要な役割を果たすことが期待されています。



法面对策工(完成)

## 県営中山間地域総合整備事業の取組(高萩市高萩地区)

中山間地域は、傾斜地、小区画などの条件不利地が多く、また農業用施設の整備も遅れています。そこで本事業により、ほ場整備1地区(約25ha)、農業用排水施設整備(ため池3か所、排水路1路線)、農道整備(約2,500m)を総合的に実施し、中山間地域の農業振興を図っています。令和2年度は、排水路整備(1路線)、農道整備(3路線)、赤浜ほ場整備地区内における軟弱地盤対策整備などを実施しました。令和4年度の事業完了を目標に、今後は赤浜ほ場整備地区内の軟弱地盤対策整備を進めてまいります。



平野地区(農道整備)

## 茨城県県北農林事務所

管轄：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町  
(土地改良部門は那珂市、東海村を含む)

■ 企画調整部門(企画調整課・振興環境室)  
茨城県常陸太田市山下町4119常陸太田合同庁舎内  
電話番号：0294-80-3301 FAX番号：0294-80-3304

■ 経営・普及部門(常陸太田地域農業改良普及センター)  
茨城県常陸太田市山下町4119常陸太田合同庁舎内  
電話番号：0294-80-3340 FAX番号：0294-80-3348

■ 土地改良部門(常陸太田土地改良事務所)  
茨城県常陸太田市山下町4119常陸太田合同庁舎内  
電話番号：0294-80-3350 FAX番号：0294-80-3358

■ 林務部門  
茨城県常陸太田市山下町4119常陸太田合同庁舎内  
電話番号：0294-80-3370 FAX番号：0294-80-337

■ 常陸大宮地域農業改良普及センター  
茨城県常陸大宮市野中町3083-2  
電話番号：0295-53-0116 FAX番号：0295-53-1077

■ 高萩土地改良事務所  
茨城県高萩市春日町3-1  
電話番号：0293-22-2379 FAX番号：0293-24-4660

